

地域課題・目指す将来像

地域
課題

- IT産業の下請構造、低い労働生産性、伝統的な雇用体系等による人材流出の負のサイクルがあり、**高度IT人材の首都圏流出が大きな課題**
- 産学金官によるスマートシティ推進と合わせ、地方大学の知見を活かした高付加価値産業を構築し、**高度IT人材が魅力を感じるスタートアップ拠点を形成する必要がある**

将来像

- **東北第2位のIT産業集積の強化**（2030年IT戦略実現：①IT産業売上高3倍、②IT事業所数2倍、③高度IT人材地元定着50%増）
- **高度IT人材が魅力を感じる高付加価値産業の創出**（北東北の人口減少の防波堤構築）

推進体制

名称：盛岡未来技術地域実装協議会
～(別称)マルチモノ盛岡推進協議会～

地方公共団体	盛岡市、岩手県、滝沢市、矢巾町
国（★は現地支援責任者）	★内閣府（地方創生推進事務局）、デジタル庁（国民向けサービスグループ）、警察庁（交通局）、総務省（東北総合通信局）、文部科学省（科学技術・学術政策局）、厚生労働省（東北厚生局）、経済産業省（東北経済産業局）、国土交通省（東北地方整備局）
学術機関等	岩手大学、岩手県立大学、岩手県立産業技術短期大学校、いわて産業振興センター、岩手県工業技術センター
民間事業者	(株)ネクスト、(株)Wakey、湊運輸倉庫(株)、(株)プラスプラス、(株)TOLIMS、manordaいわて(株)、NTT東日本、(株)doors、(株)Chaos Edge、(株)フロムいわて、ジオテクノロジー(株)、白石食品工業(株)、Visnu(株)、イーアールアイ(株)、タヤマスタジオ(株)、(株)ドコモビジネスソリューションズ東北支社岩手支店、富士通Japan(株)北東北公共ビジネス部、東日本旅客鉄道(株)盛岡支社、(株)Badass、(株)AtoZテクノロジー、(株)アービヴェック、(株)アイビーシーソフトアルファ、NTTデータルウィーブ(株)等

課題解決に向けた取組

(写真・図：盛岡市提供)

高付加価値産業の創出

【AI、IoT、ドローン、VR/AR、5G、自動運転、キャッシュレス 等】

未来技術にチャレンジするプラットフォーム「MULTI MONO MORIOKA（マルチモノ盛岡）」において、未来技術を活用する実証実験が次々と派生される環境を構築し、これらの実証事業の社会実装を目指すことで、産業の発展や社会課題の解決、人材の地元定着を目指す

<R6年度に実施した実証事業>

①非接触型バイタルセンサークラウド運用システムの実証事業【AI、IoT】

・非接触型バイタルセンサークラウド上にデータ収集し、AIの活用によりリアルタイムにデータ分析し遠隔でモニタリング

②AIによるエネルギー消費量最適化支援システムの研究開発事業【AI、IoT】

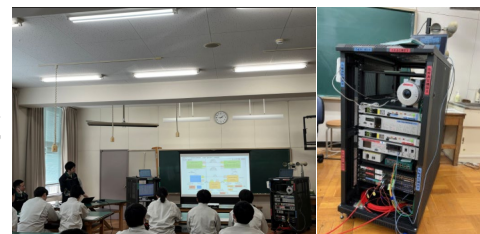
・IoTによる電力使用量の可視化とAIによる電力使用量自動分析

③Bluetooth機器による市街混雑状況可視化事業【IoT】

・人流データをリアルタイムで収集・分析し人流管理

④ITエンジニア創出事業【IoT】

・ITエンジニア教育キットを製作し、学生向けIT人材育成出前講座を実施



出前講座

教育キット

<その他、実装を目指す事業（令和5年度以前に実施した実証事業）>

- AI画像処理による市道の穴ぼこ箇所の特定事業
- パンAI検品システム開発事業
- InQrossカイゼンメーカー広域版開発の実証実験 等

高付加価値産業の創出（R4年度実証事業：デジタル技術を活用したスマートストア事業【AI】）

取組内容

➤ 【AZLM CONNECTED CAFEmanorda いわて店】オープン（2022年10月26日）

- 「店舗の省人化×ICTによる非接触購買」と「店舗運営の効率化」を図りながら、地域産品及び情報の展示を通じて、ECサイトへの誘導や関係人口創出のPRを行う**新業態店舗（スマートストア）**の実証実験を開始
- 店舗内では、**映像AIサービス**を活用し、入店者の属性分析のほか、商品の視聴率やPOP等の販促効果、来店者が多く滞在したエリアを可視化し、それらを**出店者に還元**することでプロモーションや販促の効果検証につなげる

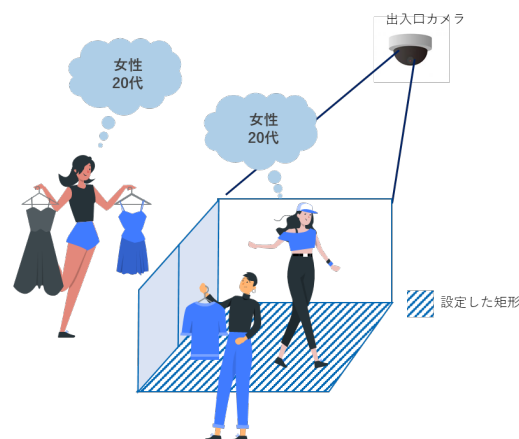
AZLM CONNECTED CAFE manorda いわて店

- 店舗には、地域産品をはじめとした商品が多数陳列
- 来店客は約8,000人（2022年11月累計）

映像AIサービスの活用

- 映像AIサービスを活用して収集したデータは、出店者へ還元
- 商品のプロモーションやマーケティングに活用

【入店者属性分析】



【商品棚滞在時間】



高付加価値産業の創出（R5年度実証事業：AI画像処理による市道の穴ぼこ箇所の特定事業【AI】）

取組内容

➤ 専用車両による走行調査の実施、及び、AIによる画像処理の実施（2023年8月～）

- AI画像処理による道路の「穴ぼこ」の**自動検出と位置特定**により、**効率的な道路補修**に寄与
- 将来的には、穴ぼこ以外にもひび割れ等の損傷についても**情報を蓄積、分析・予測**することで「穴ぼこ」の**未然防止**による効率的な維持管理を目指す

専用車両による走行調査

- 今回の実証実験で、調査車両が走った総距離は1,300 km（有効距離は盛岡市内の道路20%以上）
- 撮影した画像の枚数は87万枚にのぼる

AIによる画像処理

- 穴ぼこ損傷認識の一次評価では、適合率（※2）91%再現率（※2）94%と高精度な認識を実現。
（※1）穴ぼこ損傷と判断したものが実際に穴ぼこ損傷であった割合
（※2）対象の穴ぼこ損傷をモレなく認識できた割合

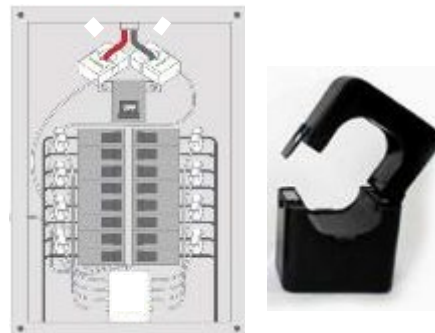
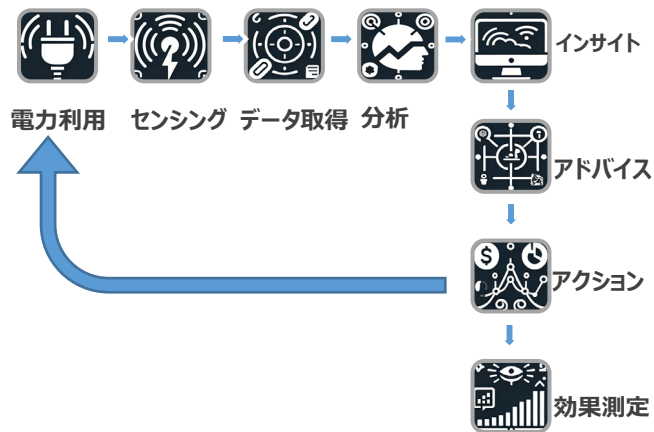
高付加価値産業の創出（R6年度実証事業：AIによるエネルギー消費量最適化支援システムの研究開発事業【AI、IoT】）

取組内容

➤ 配電盤に設置した電気使用センサーからリアルタイムにデータを取得し、CO2排出量表示及び、AIを活用した具体的節約アドバイスの提供の実施（2024年6月～）

- ・エネルギー消費の可視化を通じて省エネルギー対策及びCO2排出量削減に寄与。
- ・AIを活用しデータ分析や予測により洞察機能を有し、省エネルギーアドバイスを旨す。

配電盤にセンサーを取り付け



配電盤に設置された電気使用センサーがリアルタイムでデータを収集

データによるAI分析



- ◆ 設備単位や総量のリアルタイムでグラフ化
- ◆ アラーム
- ◆ AI分析結果など